

NEWS RELEASE

令和3年10月5日

お客様へ

株式会社 栃木銀行
取締役頭取 黒本 淳之介

栃木県「産業データ共有・利活用プラットフォームモデル」 データ利活用モデルの有用性検証に係る実証実験への参加について

株式会社栃木銀行(取締役頭取 黒本 淳之介)は、栃木県及び東日本電信電話株式会社栃木支店(支店長 小林 博文)が令和3年10月5日より開始する「データ利活用モデルの有用性検証に係る実証実験」に参加いたします。

本実証実験への参加により、参加企業ならびにエリアの現状の可視化や分析、マーケティングの見直し等を行い、生産性向上、革新的な製品・サービスの創出ならびに、新たな付加価値創出による課題解決の実現を目指し、地域活性化や地域産業の競争力向上に取り組んでまいります。

記

1. 実証実験参画企業(順不同)

株式会社 栃木銀行(アドバイザーとして参加)

那須高原りんどう湖ファミリー牧場(那須興業 株式会社)、那須ハイランドパーク

(藤和那須リゾート 株式会社)、那須どうぶつ王国(那須高原リゾート開発 株式会社)、

TOWAピュアコテージ(藤和那須リゾート 株式会社)、ホテルエピナール那須(株式会社
ナクアホテル&リゾートスマネジメント)、ロイヤルホテル那須(大和リゾート 株式会社)

2. 課題

コロナ禍により観光客が減少している中、観光に来ていただいた人はどのような動線で観光しているかを把握し、エリア内の周遊を促進する施策の立案。

3. 実証実験内容

人流データ・IoT センサーを活用し、エリアに来訪者の属性分析を実施するとともに、IoT センサーにて、どのようにエリアを周遊したかを把握し、周遊促進施策の検討が可能かを実証。

以 上